

令和7年第1回茨木市こども育成支援会議 当日質問・ご意見等への回答

資料名	ページ数	ご意見・ご質問	回答	担当課
資料1 茨木市次世代育成支援行動計画実施状況報告書(案)	12	事業No.1201(乳幼児健康診査) 目標値を達成していないにも関わらず、評価がAなのは妥当なのか、疑問である。	昨年度より数値は上昇しているものの、目標値には達しておらず、さらなる受診率の向上を図る必要があるため、評価をBに修正します。	子育て支援課
資料1 茨木市次世代育成支援行動計画実施状況報告書(案)	15	事業No.1204(予防接種) 目標値を達成していないにも関わらず、評価がAなのは妥当なのか、疑問である。	全国的なワクチン不足により接種率が下がっているものの、目標値には達しておらず、さらなる接種率の向上を図る必要があるため、評価をBに修正します。 また、R6の実績数値について、より正確な数値とするため、小数点以下1位までの数値に修正しました。 89%→89.2%	子育て支援課
資料1 茨木市次世代育成支援行動計画実施状況報告書(案)	16	事業No.1205(小児医療救急医療体制の確保) 小児救急医療体制の確保について、3市1町の広域で運営されており、市内に設置されていないにもかかわらず評価がA判定だが、その理由を聞きたい。	小児医療は、自らの症状を訴えることが困難な子どもに対応する必要があります。さらに、応急診療所での小児救急では、日頃診療している環境ではない場所で、かかりつけ患者以外の子どもに対応する必要があります。それに対応するためには、医師をはじめとする医療従事者等の人材や検査機器等の環境が重要になりますが、医師、特に小児科専門医を休日・夜間に医師派遣で確保することが困難であるなどの課題があります。 本市では、これらの課題に対応し、市民の皆さまに必要で安心できる救急医療を将来にわたって継続的に安定して提供できるよう、平成25年4月から小児初期救急体制の広域化を行い、専門医(小児科医)をはじめとする医療従事者の確保や検査機器など医療環境が充実した高槻島本夜間休日応急診療所での小児初期救急を行っております。 以前からの小児科医や看護師をはじめとする医療従事者の確保が難しい状況に加え、医師の働き方改革による勤務医師の従事できる時間制限の影響など、今後ますます医師の確保が難しくなっていくことが考えられますが、広域化により、持続可能な医師確保も含めた医療提供体制等が可能になるものと考えております。 なお、小児2次救急につきましては、済生会茨木病院での実施に対する支援を行っています。 評価につきましては、「小児救急医療体制」について、広域化により、小児初期救急への安定した医師をはじめとした医療提供体制は確保できていること、小児2次救急を実施していることからA判定としております。なお、小児初期救急体制の確保はできているものの、市外施設での実施についての市民の方からのお声は認識しておりますので、充実に向け、市として何かできることはないか、検討してまいります。 引き続き、小児救急医療をはじめ、安全・安心な地域医療の充実に努めてまいります。	医療政策課
資料1 茨木市次世代育成支援行動計画実施状況報告書(案)	16	事業No.1205(小児医療救急医療体制の確保) 課題として、安定した小児科専門医師などの確保や受け入れ体制の確保と記載しているが、その場合、評価はA判定でいいのか疑問である。		医療政策課

令和7年第1回茨木市こども育成支援会議 当日質問・ご意見等への回答

資料名	ページ数	ご意見・ご質問	回答	担当課
資料1 茨木市次世代育成支援行動計画実施状況報告書(案)	49	事業No.1304(デートDV防止啓発) 予防啓発冊子を活用したデートDVに関する啓発について、こども達には伝わっていると思うが、保護者にも周知した方がよいと思う。	デートDV予防啓発冊子については、市のホームページで周知をしておりますが、保護者に対しての周知につきましては、効果的な方法について関係課とも連携して検討してまいります。	人権・男女共生課
資料1 茨木市次世代育成支援行動計画実施状況報告書(案)	54	事業No.1309(小・中学生及びその保護者に対する教育相談) 不登校のこどもたちがどんどん増えてきている中で、実際に不登校の相談を受けて、不登校生が減ってきたら、評価がAになるのではないか。	今後、新規も含め不登校児童生徒数の減少に努めることから評価を「B」に修正しました。	教育センター
資料1 茨木市次世代育成支援行動計画実施状況報告書(案)	57	事業No.1312(こども本人からの相談) チャットツール等、子どもたちががなれ親しんでいるツールを使った相談について、検討していただければ、もう少し相談しやすい環境になるかなと思います。	大阪府教育センターがLINE相談(すこやか相談)を実施していることから、より児童生徒に伝わるよう周知をしていきたいことから、「今後の方向性」の記載内容を追記しました。	教育センター

資料1 修正箇所

ページ数	事業No.	修正箇所	担当課
6	事業No.1106(妊婦歯科健康診査)	R6の実績数値について、より正確な数値とするため、小数点以下1位までの数値に修正しました。 (39%→38.8%)	子育て支援課
93	事業No.2110(学習・生活支援)	・参加率を修正しました。(51%→97%) ・参加率の修正に伴い、できなかったことおよび取組における課題の文言を修正しました。	福祉総合相談課
102	事業No.2202(児童発達支援センター(あけぼの学園)の運営)	・取組評価について、評価をAからBに修正しました。 ・これからの取組欄の文言を追記修正しました。	発達支援課